

当院採用の便秘薬一覧

【内用薬】 ○:添付文書またはIFに大腸刺激(蠕動運動亢進)や便の軟化作用に関する記述あり
-:上記に関する記述がない又はその作用を否定する記述あり

分類	採用	大腸刺激作用	軟化作用	商品名(一般名)	薬価	製剤写真	効能・効果	用法用量	備考															
大腸刺激性下剤	院内外	○	-	センノシド錠12mg「サファイ」(センノシドA・Bカルシウム塩)	5.1円/錠		便秘症	通常、成人1日1回12~24mgを就寝前に経口投与する。高度の便秘には、1回48mgまで増量することができる。なお、年齢、症状により適宜増減する。	大腸細菌叢由来の腸内細菌により生成された活性体(レインアンスロン)が大腸粘膜を直接刺激し、蠕動を亢進する。運用による耐性増大等のため、効果が減弱し、薬剤に頼りがちになることがあるので長期運用を避けること。															
	院内外	○	-	アローゼン顆粒(センナ577.9mg センナジツ 385.3mg)	7円/g		●便秘 (ただし、慢性便秘は除く) ●駆虫剤投与後の下痢	通常、成人1回0.5~1.0gを1日1~2回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する																
	院外	○	-	ヨーデルS糖衣錠-80(センナエキス80mg(センノシドAとして16mg))	6.4円/錠		便秘症	通常、成人1回80mgを就寝前に経口投与する。高度の便秘には、1回160~240mgまでを頓用として経口投与する。連用する場合は、1回40~80mgを毎食後経口投与する。小児(6~12歳)は、1回40mgを就寝前経口投与する。																
	院内外	○	○	ピコスルファートナトリウム内用液0.75%「日医工」(ピコスルファートナトリウム水和物)	8.8円/ml(10ml/本)		●各種便秘 ●術後排便補助 ●造影剤(硫酸バリウム)投与後の排便促進 ●手術前における腸管内内容物の排除 ●大腸検査(X線・内視鏡)前処置における腸管内内容物の排除	各種便秘症の場合、通常、成人に対して1日1回10~15滴(0.67~1.0ml)を経口投与する。 ▼小児に対しては、1日1回、次の基準で経口投与する。 <table border="1"> <tr> <td>年齢</td> <td>~6カ月</td> <td>7~12カ月</td> <td>1~3才</td> <td>4~6才</td> <td>7~15才</td> </tr> <tr> <td>滴数/回</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> </table> ★便秘以外の効能・効果に関する用法用量は、最新の添付文書でご確認ください。		年齢	~6カ月	7~12カ月	1~3才	4~6才	7~15才	滴数/回	2	3	6	7	10	大腸細菌叢由来の酵素により加水分解され活性型となり、大腸の蠕動運動を亢進し、さらに大腸での水分吸収抑制作用により便を軟化させる。		
年齢	~6カ月	7~12カ月	1~3才	4~6才	7~15才																			
滴数/回	2	3	6	7	10																			
浸透圧性下剤(塩類下剤)	院内外	-	○	酸化マグネシウム細粒83%「ケンエー」(酸化マグネシウム)	11.1円/g		下記疾患における制酸作用と症状の改善 ●胃・十二指腸潰瘍 ●胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む) ●上部消化管機能異常(神経性食慾不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む)	○緩下剤として使用する場合 酸化マグネシウムとして、通常、成人1日2gを食前又は食後の3回に分けて経口投与するか、又は就寝前に1回投与する。	腸管内で吸収されにくく、腸管内の浸透圧が高張となるため、腸管内に水分が移行して便の軟化をもたらす。さらに腸管内内容物の膨張により、腸管を刺激する。高マグネシウム血症があらわれることがあるので、長期投与する場合には、定期的に血清マグネシウム濃度を測定するなど注意が必要。 制酸作用、吸着作用等により、他の薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。他剤との併用に注意が必要。															
	院内外	-	○	酸化マグネシウム錠250mg、330mg「ケンエー」(酸化マグネシウム)	各5.7円/錠		●便秘症 ●尿路結核カルシウム結石の発生予防	★便秘以外の効能・効果に関する用法用量は、最新の添付文書でご確認ください。																
	院内外	-	○	モビコール配合内用剤(マクロゴール4000)	83.6円/包		慢性便秘症(器質性疾患による便秘を除く)	本剤は、水で溶解して経口投与する。 ▼用法用量は年齢により異なります。以下の表をご参照ください。 <table border="1"> <tr> <td>年齢</td> <td>2~6歳</td> <td>7~11歳</td> <td>12歳以上</td> </tr> <tr> <td>飲み始め</td> <td>1日1回 1包/回</td> <td>1日1回 2包/回</td> <td>1日1回 2包/回</td> </tr> <tr> <td>最大用量</td> <td>4包/日 症状に応じて適宜増減し、1日1~3回経口投与、1回量として2包までとする。</td> <td>6包/日 症状に応じて適宜増減し、1日1~3回経口投与、1回量として2包までとする。</td> <td>6包/日 症状に応じて適宜増減し、1日1~3回経口投与、1回量として2包までとする。</td> </tr> <tr> <td>増量について</td> <td colspan="3">2日以上の間隔をあけて行い、増量幅は1日量として1包までとする。</td> </tr> </table>		年齢	2~6歳	7~11歳	12歳以上	飲み始め	1日1回 1包/回	1日1回 2包/回	1日1回 2包/回	最大用量	4包/日 症状に応じて適宜増減し、1日1~3回経口投与、1回量として2包までとする。	6包/日 症状に応じて適宜増減し、1日1~3回経口投与、1回量として2包までとする。	6包/日 症状に応じて適宜増減し、1日1~3回経口投与、1回量として2包までとする。	増量について	2日以上の間隔をあけて行い、増量幅は1日量として1包までとする。	
年齢	2~6歳	7~11歳	12歳以上																					
飲み始め	1日1回 1包/回	1日1回 2包/回	1日1回 2包/回																					
最大用量	4包/日 症状に応じて適宜増減し、1日1~3回経口投与、1回量として2包までとする。	6包/日 症状に応じて適宜増減し、1日1~3回経口投与、1回量として2包までとする。	6包/日 症状に応じて適宜増減し、1日1~3回経口投与、1回量として2包までとする。																					
増量について	2日以上の間隔をあけて行い、増量幅は1日量として1包までとする。																							
浸透圧性下剤(糖類下剤)	院内外	-	○	D-ソルビトール原末「マルイシ」(D-ソルビトール)	1.31円/g		●消化管のX線造影の迅速化、造影時の便秘防止 ●経口的栄養補給	X線造影剤に添加して経口投与する。添加量はX線造影剤中の硫酸バリウム100gに対してD-ソルビトール10~20gとする。 ★便秘以外の効能・効果に関する用法用量は、最新の添付文書でご確認ください。	注腸しないこと。(注腸により腸壁壊死の報告あり。)															
膨張性下剤	院内外	○	○	カルメロースナトリウム原末「マルイシ」(カルメロースナトリウム)	7.3円/g		便秘症	通常、成人には1日1.5~6gを、多量の水とともに、3回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	硬便を物理的に軟便化する。腸管内で水分を吸収して膨張し、ゼラチン様の塊となって腸管壁を物理的に刺激する。この作用により大腸の蠕動運動を促進して排便を促す。															
その他	院内外	○	○	グーフイス錠5mg(エロピキシバット水和物)	104.8円/錠		慢性便秘症(器質性疾患による便秘を除く)	通常、成人には10mgを1日1回食前に経口投与する。なお、症状により適宜増減するが、最高用量は1日15mgとする。	回腸末端部の胆汁酸トランスポーター(IBAT)を阻害し、胆汁酸の再吸収を抑制することで、大腸管腔内に入流する胆汁酸の量を増加させる。胆汁酸は、大腸管腔内に水分を分泌させ、さらに消化管運動を促進する。															
	院内外	-	-	スインプロイク錠0.2mg(ナルデメジントシル酸塩)	277.1円/錠		オピオイド誘発性便秘症	通常、成人には1回0.2mgを1日1回経口投与する。	消化管のオピオイド受容体に結合し、オピオイド鎮痛薬に拮抗することによりOIC(オピオイド誘発性便秘症)を改善する。															
	院内外	○	-	リンゼス錠0.25mg(リナクロチド)	87.5円/錠		●便秘型過敏性腸症候群 ●慢性便秘症(器質性疾患による便秘を除く)	通常、成人には0.5mgを1日1回、食前に経口投与する。なお、症状により0.25mgに減量する。	腸管の管腔表面に存在するGC-C受容体を活性化することにより、腸管分泌促進作用、小腸輸送能促進作用及び大腸痛覚過敏改善作用を示す。															
	院外	-	○	アミティーザカプセル12μg(ルビプロストン)	60.7円/cap		慢性便秘症(器質性疾患による便秘を除く)	通常、成人には1回24μgを1日2回、朝食後及び夕食後に経口投与する。なお、症状により適宜減量する。	小腸のクロライドチャンネルに作用し、腸管内への水分分泌を促進して便を軟らかくし、腸管内への輸送を高めて排便を促進する。															
	院内外	-	○	アミティーザカプセル24μg(ルビプロストン)	120.4円/cap		慢性便秘症(器質性疾患による便秘を除く)	通常、成人には1回24μgを1日2回、朝食後及び夕食後に経口投与する。なお、症状により適宜減量する。	小腸のクロライドチャンネルに作用し、腸管内への水分分泌を促進して便を軟らかくし、腸管内への輸送を高めて排便を促進する。															
院内	-	○	ピアーレシロップ65%(ラクツロース)	4.9円/ml		●高アンモニア血症に伴う下記症状の改善(精神増強薬、手指振戦、筋力異常) ●経腸栄養・手術後の排ガス・排便の促進 ●小児における便秘の改善	小児便秘症の場合、通常1日0.5~2ml/kg(ラクツロースとして0.325~1.3g/kg)を3回に分けて経口投与する。投与量は便秘性により適宜増減する。 ★便秘以外の効能・効果に関する用法用量は、最新の添付文書でご確認ください。	下部消化管で浸透圧作用により緩下作用を示す。開栓後は密栓し、冷所保存。																

【外用薬】

参考資料：各添付文書、IF、今日の治療薬2020

分類	採用	大腸刺激	軟化作用	商品名 (一般名)	薬価	製剤写真	効能・効果	用法用量	備考
大腸刺激性下剤 (坐薬)	院内外	○	-	テレミンソフト 坐薬10mg(ピサコジル)	20.3円/個		●便秘症 ●消化管検査時又は手術前後における腸管内容物の排除	通常1回、成人は10mgを、1日1~2回肛門内に挿入する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。	結腸・直腸粘膜の副交感神経末端に作用して蠕動運動を促進する。 高温を避けて、室温保存。
	院内外	○	-	テレミンソフト 坐薬2mg(ピサコジル)	19.7円/個			通常1回、乳幼児は2mgを、1日1~2回肛門内に挿入する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。	
	院内外	○	-	新レシカルボン 坐剤(炭酸水素ナトリウム 無水リン酸二水素ナトリウム)	51.4円/個		便秘症	通常1~2個を出来るだけ肛門内深く挿入する。重症の場合には1日2~3個を数日間続けて挿入する。	腸管内で炭酸ガスを発生し、蠕動運動を亢進する。 冷所保存。
浣腸剤	院内外	○	○	ケンエーG浣腸液 50%(30ml)(グリセリン)	100.1円/個		●便秘 ●腸疾患時の排便	通常、1回10~150mlを直腸内に注入する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。	腸管からの水分吸収に伴う刺激作用により蠕動を亢進し、また浸透作用により糞便を軟化、膨張化する。 連用による耐性増大等のため効果が減弱し、薬剤に頼りがちになることがあるので長期連用を避けること。 浣腸液温は約40℃が適温。お湯に入れて温める。
	院内外	○	○	ケンエーG浣腸液 50%(60ml)(グリセリン)	107.7円/個				

便秘に適応のある漢方薬

※偽アルドステロン症をきたす恐れのあるカンゾウは、約7割の漢方薬に含まれており、合計で2.5g以上(1日量として)処方する際は電解質の変化を定期的にモニタリングする必要がある。

漢方薬	院内外	○	-	ツムラ 桃核承気湯エキス顆粒	8.5円/g		比較的体力があり、のぼせて便秘しがちなものの次の諸症：月経不順、月経困難症、月経時や産後の精神不安、腰痛、便秘、高血圧の随伴症状(頭痛、めまい、肩こり)	通常、成人1日7.5gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。	【組成(1日用量7.5g中)(g)】 トウニン5.0 ケイヒ4.0 ダイオウ3.0 カンゾウ1.5 無水ボウショウ0.9
	院内外	○	-	ツムラ 防風通聖散エキス顆粒	8.5円/g		腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症 高血圧の随伴症状(どうき、肩こり、のぼせ)、肥満症、むくみ、便秘		【組成(1日用量7.5g中)(g)】 カッセキ3.0 オウゴン2.0 カンゾウ2.0 キキョウ2.0 セッコウ2.0 ビャクジュツ2.0 ダイオウ1.5 ケイガイ1.2 サンシシ1.2 シャクヤク1.2 センキョウ1.2 トウキ1.2 ハッカ1.2 ボウフウ1.2 マオウ1.2 レンギョウ1.2 ショウキョウ0.3 無水ボウショウ0.7
	院内外	○	-	ツムラ 大黄甘草湯エキス顆粒	5.4円/g		便秘症		【組成(1日用量7.5g中)(g)】 ダイオウ4.0 カンゾウ2.0
	院外	○	-	ツムラ 桂枝加芍薬大黄湯エキス顆粒	8.8円/g		比較的体力のない人で、腹部膨満し、腸内の停滞感あるいは腹痛などを伴うものの次の諸症 急性腸炎、大腸カタル 常習便秘、宿便、しぶり腹		【組成(1日用量7.5g中)(g)】 シャクヤク6.0 ケイヒ4.0 タイソウ4.0 カンゾウ2.0 ダイオウ2.0 ショウキョウ1.0